

IV-287

観光の条件と岸辺の利用形態

正員 三 浦 行 政

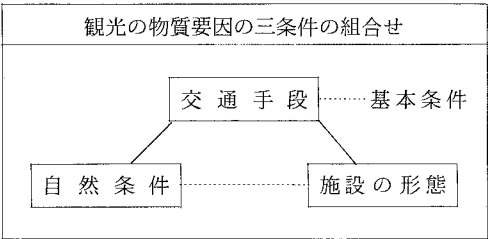
1. 既 念

観光の成立要因としては、人文要因と物質要因とがある。人文要因は観光学に関するもので、主として経済学としての事象で、物質要因は観光工学に属し、時として土木工法が取入れられるか、併用される場合がある。

観光の成立要因の経緯においては、特定の要素が幾らかでも存在していれば、公共な場所において条件を備えることで、観光地として成立つものである。

2. 三条件

物質要因の具備すべき条件とは、自然条件、交通手段、施設の形態の三条件である。自然条件はその地域の特性を生かした地域性に依存し、交通手段は定住地から離れる場合の手法であって、施設の形態は利用者の欲求を満足させるもので、これら三条件を組合せることによって構成され、更に、この組合せ方法では交通手段を基本条件とし、他の自然条件並びに施設の形態の両方か、他の一方との組合せでも成りたつ。図－Ⅰ参照



図－Ⅰ

3. ウォーターフロントの構成

手法として岸辺、水辺にたとえて、海岸、河岸、湖沼岸での利用形態において、観光工学上取あげて見るならば、そこは陸地と水面とが相接する両者の異った性質の共存の場であって、利用価値の点からも、最重要視すべき処と考えられる。そして、この場所での活動範囲を拡大する手法として、次のことが挙げられる。平面形状は正方形の凸凹を交互に配置するか、又は正弦波形状のものを配置する形式で最も安定した形状を採用する。

突出部は直立護岸形式又は階段護岸形式とし、欠込部は自然勾配方式とするか階段護岸形式とし、突出部の水面は深場と接し、欠込部の水面は浅場と接する。

即ち陸部と水部とを平等に配分するには、それぞれの面積を等しく相互の間隔も等しく巾と奥行とが等しいことが条件となる。突出部の高さの決定にあたっては、海岸線での天端高は春秋分最高潮位より高くし、底部は春秋分最低潮位で露出せず、河岸での天端高は高水敷高に揃えることにし、低水位でも底部が水面上に現れない方が良い。図－Ⅱ参照

平面形状の寸法は基準方法が1の単位長さの寸法の数値が2の近似値のものから選んだ方が都合が良い。行動区分ごとに短かいときの基準寸法は一尋、長いときの基準寸法は一海里から取る。表－Ⅰ参照

配慮すべき事項として、

- (1) 利用価値の有無と規模の大小
- (2) 地形の順応性と地質の適応性
- (3) 恒風の方角と波浪の高低

平面形状寸法数値表		
基準寸法	1単位長	適用範囲
1 尋 = 1.8M	≒ 2 M	河岸・湖沼岸
10 尋 = 18 M	≒ 20 M	
0.1海里 = 185M	≒ 200 M	海 岸 線
1 海 里 = 1852M	≒ 2000M	

表－Ⅰ

- (4) 潮流の強弱と漂砂の程度
- (5) 水流の速度と分布の状態
- (6) 潮差又は水深・水位と自然の勾配
- (7) 水生動植物の定着の状況
- (8) 維持保全と永続性
- (9) 周辺の調和と環境の維持
- (10) 生活と余暇との関連と流行の度合

以上の事項を考慮に入れて、自然条件の厳しい所たとえば波力が強い外海に面した海岸線とか、川の上流で流れの強い場所では、正弦波形状型を採用し、内湾の波の静かな所、或いは、河口附近の川の流れの緩やかな所では、正方形形状型を施し、時には、護岸工事をも兼ね適用を検討すればより経済的ともいえる。

4. 考 察

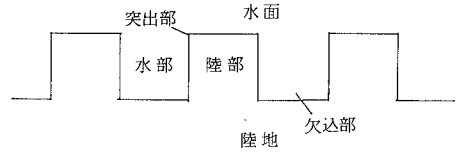
自然の海岸線の地形は大小の差において、岩場と砂浜とが交互の配列をなし、岩場は突出で形成され、砂浜は欠込で形成されている。

又河岸では小さい張出しと引込とが交互の繰返しの配列をなしている。自然の形態を損うことなく極く自然的な造形である。沿岸魚の幼魚は浅場で生育期を過ごし成魚になると深場へと移動する。欠込部の浅場は幼魚が成長するのに適した場所として必要

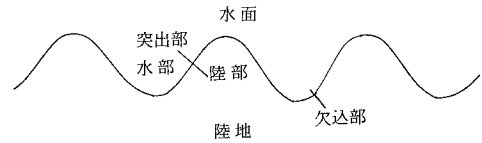
であり、人が水辺に入るのに都合が良い。突出部の深場は、成魚の釣場として利用でき視界が広がり眺望も良くなる。海岸では潮流と漂砂の調整をし、河岸では水流の調整を兼ねると共に環境を構成するうえでの余暇時代に相わしい公有地水面の活用の一つとしての指針として提唱する。

5. 結 論

今日迄に開発優先で失なわれた数多くの自然海岸の復活に、無秩序な埋立による公平な利用配分を求めでの入浜権の主張に対する浜返還問題を今後解決するのに、沿岸魚、水鳥の生息に好ましい場所の提供を再現、開発と環境保護を両立させる場合、もしくは、自然公園の質の向上など多くの利用価値を期待することができる。人工と自然との調和を均衡良く配置を施す場合にその応用範囲は広く、特に開発に際し渚を存続する場合、時には埋立地の前面に打出して、従来の渚の再現に代替の場を造成する再利用計画など多種多様な用途が可能である。

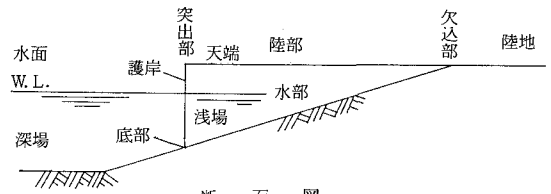


正方形形状型（人工的色彩が強い形状）



正弦波形状型（自然的色彩が強い形状）

平 面 図



断 面 図

図 - II